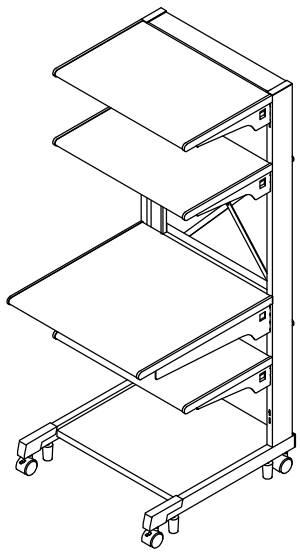
マルチメディアラック(RAC－261N、264N)組立説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございました。
この製品は組立式になっております。パッキングケースの中に下記の部品が入っていますので、確認の上、下記要領で組み立てて下さい。
ご使用前に、製品の使い方と使用上の注意事項について書いた説明書をよくお読みになり、製品を末永くご使用いただくために、
説明書を大切に保存し、正しくお使いください。

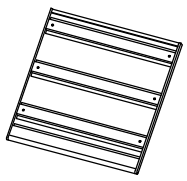
★用意していただくもの・・・・・手袋
（鋼製ですので組立の際は必ず着用してください。）
プラスドライバー

完成品

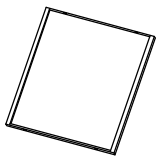


組立部品

天板梱包

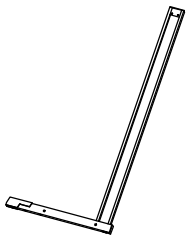


メイン天板×1

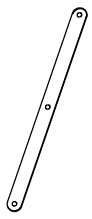


下段棚板×1

フレーム梱包

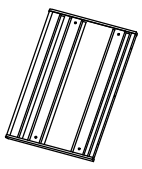


左右フレーム×各1



ユレ止め板×2

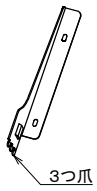
棚板梱包



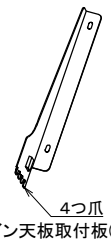
可動棚板×3

上部補強板×1

コード受け×1

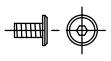


可動棚板取付板(左右)
×各3



メイン天板取付板(左右)
×各1

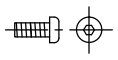
使用小部品



ボルトA(M6×12) × 25

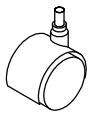
袋ナット(M6) × 1

ストッパー付
キャスター × 2

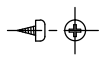


ボルトB(M6×15) × 4

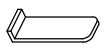
スプリングワッシャ × 4



キャスター × 2



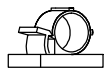
タッピングネジ
(3M×8) × 3



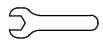
棚板抜け止め金具 × 8

アジャスター × 4

六角レンチ × 1



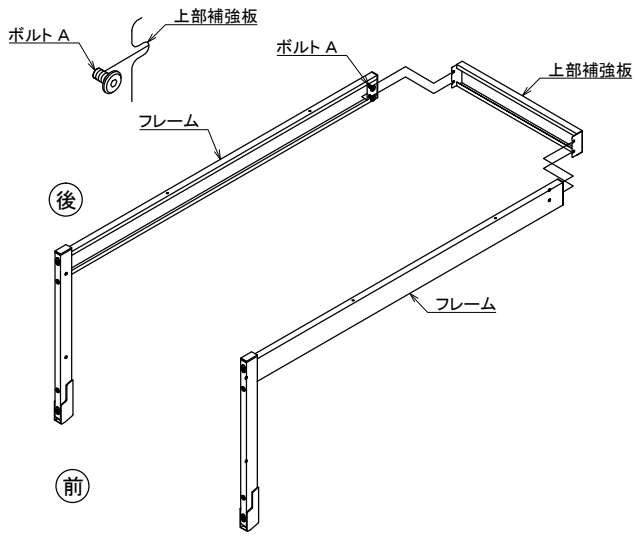
コードクリップ × 2



スパナ × 1

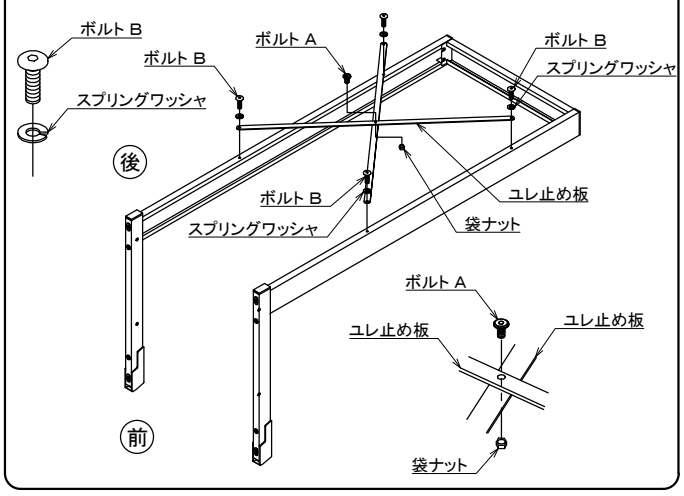
① フレームに上部補強板をボルト A で取り付けます。

フレーム上部内側のナット部にボルト A を半分くらい締め込み、上部補強板の
スリット部を差込み、ボルト Aを締め込みます。

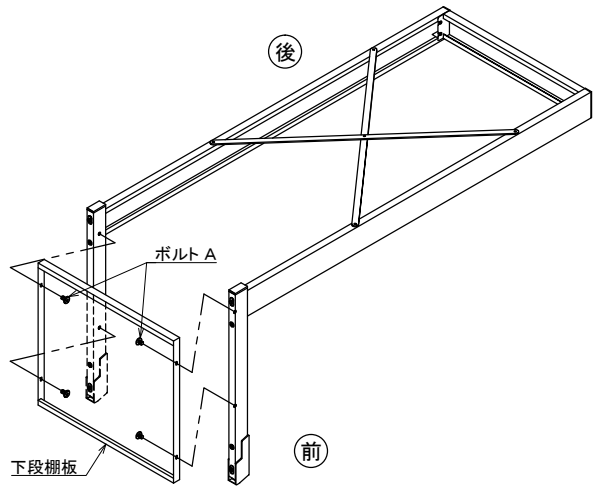


② ユレ止め板をフレームにボルト B で取り付けます。

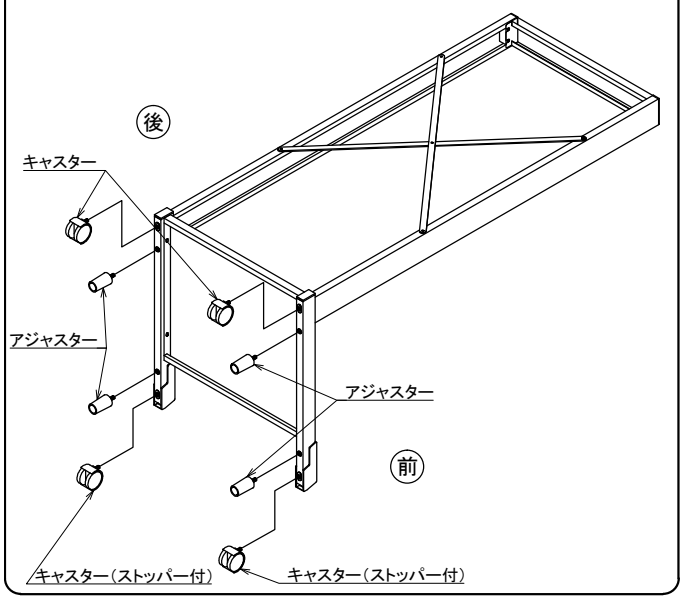
ユレ止め板を2枚合わせ、中央の穴にボルト A を挿入し、袋ナットで留めます。
（2枚の板が手で回る程度に締めて下さい。）
フレームにユレ止め板をボルト B とスプリングワッシャで取り付けます。
（ユレ止め板は袋ナットが前側にくるように取り付けて下さい。）
緩めに締めておき、あとで増し締めをします。



③ 下段棚板をボルト A で取り付けます。下段棚板に前後はありません。ここで緩めに締めていたボルトを増し締めします。

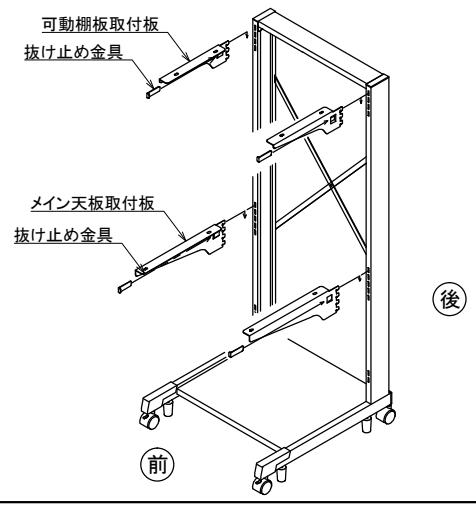


④ フレームにキャスター、アジャスターを取り付けます。ストッパーがあるキャスターを前側に取り付けます。



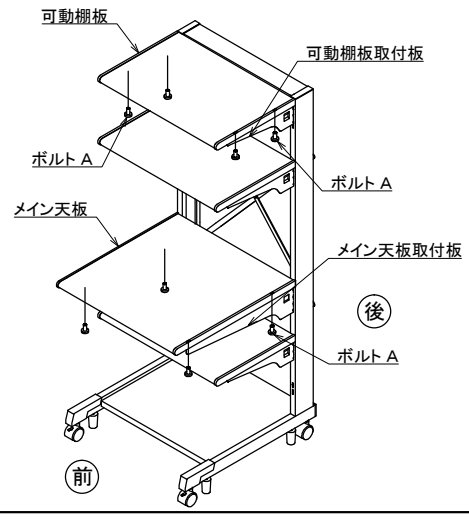
⑤ ラックを起こし、フレーム角穴にメイン天板取付板及び可動棚板取付板をお好みの位置に挿し込みます。

メイン天板の高さを床から700mmにする場合はメイン天板取付板の一番上の爪を、
下から16番目の角穴に挿し込んでください。
角穴のピッチは30mmです。
次に、メイン天板取付板及び可動棚板取付板の内側に、抜け止め金具を挿し込みます。



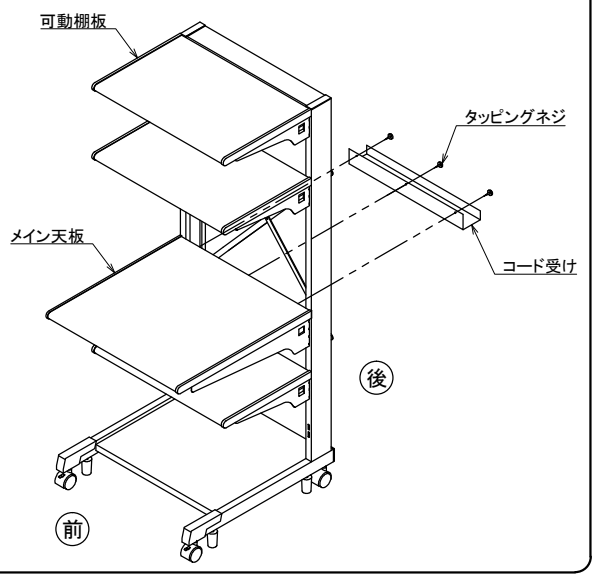
⑥ メイン天板及び可動棚板をボルト A で取り付けます。

メイン天板をメイン天板取付板の上に、可動棚板を可動棚板取付板の上に載せ、
ボルト A で取り付けます。
メイン天板及び可動棚板は丸みのあるエッヂ側が前側です。



⑦ コード受けをメイン天板または可動棚板のいずれか、お好みの棚の後方にタッピングネジで取り付けて完成です。

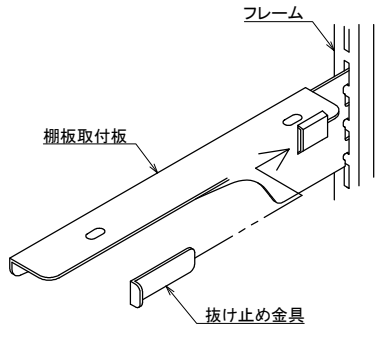
付属のコードクリップは必要に応じて、お好みの位置に取り付けてください。



使用上のお願い

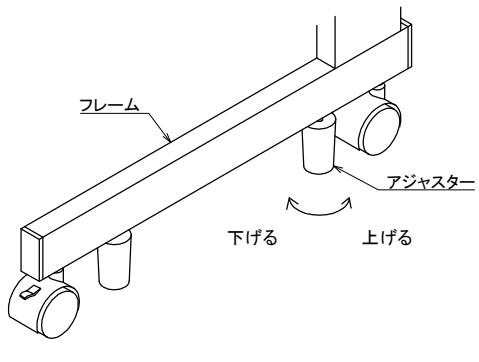
◆抜け止め金具に関しまして
抜け止め金具を挿し込まずにご使用になりますと、棚板が容易に外れ、
転落の恐れや、事故の原因となります。

必ず、抜け止め金具を確実に挿し込んでご使用ください。



◆アジャスターに関しまして
キャスターだけでのご使用は不安定です。
特にプリンター等の振動が発生する機器をお使いの場合、振動により
製品自体が動く場合があります。

製品の設置場所が決まりましたら、アジャスターの高さを
床に届くまで調整してください。



製品に関する お問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っておりますが、万一、不都合な点や
製品に関するお問い合わせなどがございましたら、お買い求めの販売店、
または右記までお気軽にご相談ください。

サンワサプライ株式会社
岡山サプライセンター／〒700－0825 岡山市北区田町1－10－1
TEL 086－223－3311 FAX 086－223－5123
東京サプライセンター／〒140－8566 東京都品川区南大井6－5－8
TEL 03－5763－0011 FAX 03－5763－0033
http：／／www. sanwa. co. jp／